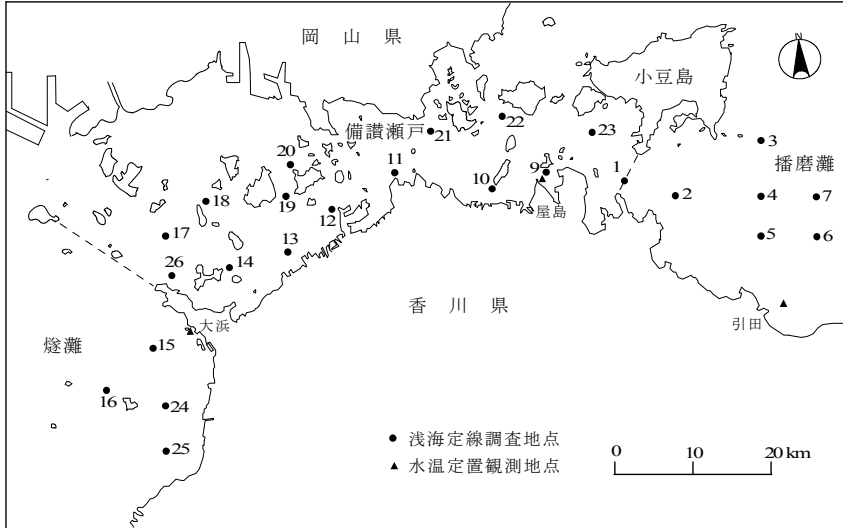


香川県漁海況速報 平成21年10月 (H21-7号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成21年10月5日 (播磨灘), 1日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「平年並みから著しく高め」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

10月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	25.2	25.2	25.1	32.1	32.1	32.2	6.6	4.57	4.38
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.6	31.7	31.8	6.9	4.42	4.07
	平年偏差	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.3	-0.3	0.15	0.31
	標準偏差(σ)	0.7	0.8	0.7	0.9	0.9	0.8	1.7	0.27	0.33
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め
備讃瀬戸	14地点平均値	25.6	25.5	25.1	32.3	32.8	32.3	6.5	4.43	4.29
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.4	31.5	31.5	3.9	4.29	4.19
	平年偏差	0.7	0.7	0.4	0.9	1.4	0.8	2.6	0.14	0.10
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	0.31	0.30
	状況	やや高め	やや高め	平年並み	やや高め	かなり高め	やや高め	著しく高め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	25.6	25.5	25.5	32.4	32.5	32.7	11.8	4.69	4.09
	平年値	25.0	24.7	24.6	31.6	31.9	32.0	7.5	4.89	4.08
	平年偏差	0.6	0.7	0.9	0.8	0.6	0.7	4.3	-0.20	0.01
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.9	1.0	0.9	0.9	2.4	0.50	0.66
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	かなり高め	平年並み	平年並み

平年偏差=平均値-平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年(1973)1月～平成13年(2002)12月

溶存酸素：昭和48年(1973)2月～平成13年(2002)12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

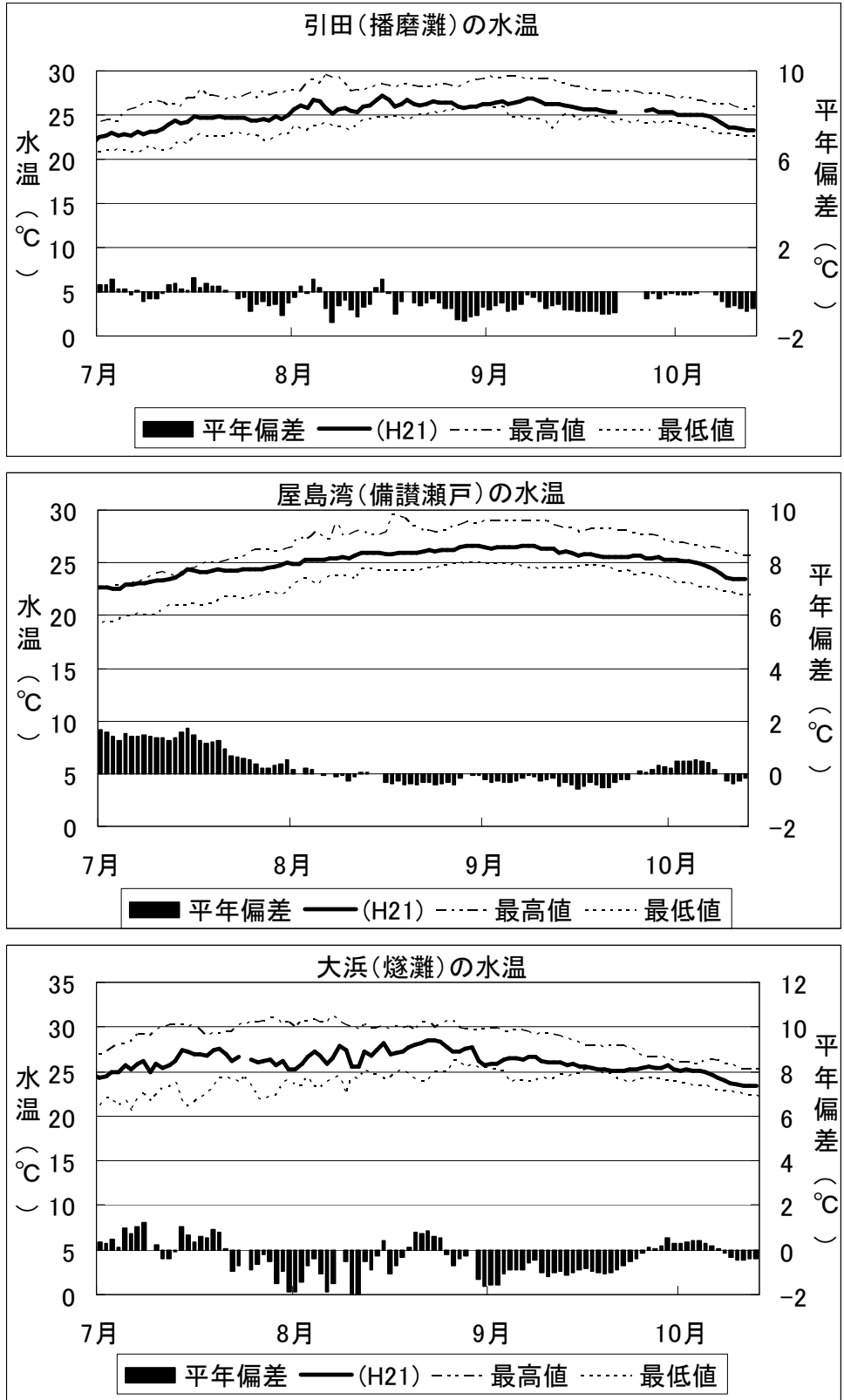
かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 8月中旬まで概ね平年並みで推移していたが、その後、やや低めで推移している。
 備讃瀬戸 (屋島) : 6月以降著しく高めで推移していたが、7月中旬以降はやや高めから平年並みで推移している。
 燧灘 (大浜) : 6月中旬以降、概ね平年並みからやや低め (9月上中旬はやや低めからかなり低め) で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 20 (2008) 年
 屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 20 (2008) 年



4) 赤潮 (9月18日～10月21日)

播磨灘：10月15日，引田沖においてメソディニウムによる赤潮が確認された。
 備讃瀬戸：発生なし。
 燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成21年10月5日 (播磨灘)，1日 (備讃瀬戸，燧灘)
 出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	2.0	0.1	0.0	0.0	2.3	9.4
	平年値	2.2	0.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	91	60	-	-		
備讃瀬戸	平均値	0.5	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	869	0	-	-		
燧灘	平均値	8.5	0.0	0.0	0.0	1.0	0.5
	平年値	0.9	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	902	0	-	-		
総平均	平均値	2.1	0.0	0.0	0.0	0.9	3.1
	平年値	0.9	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	240	41	-	-		

－：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成20年(2008)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成20年(2008)年度

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は，次のとおりである。



2. 漁況

9月からの漁況は次のとおりである

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、イボダイ、小エビ類、カマス類、タチウオ、ガザミ、クルマエビが漁獲されている。</p> <p>柵網では、タチウオ、マアジ、イボダイ、サバが漁獲されている。</p> <p>東讃のしらす船びき網の9月の漁獲量は、約3トンと低調で、前年を大きく下回った。</p> <p>さわら流し刺網の秋漁は資源保護のため、前年同様休漁している。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では、ウシノシタ類、メイタガレイ、マダイ（小）、マアナゴ、マダコ、小エビ類、コウイカ類が漁獲されている。</p> <p>まながつお流し刺網は、9月末日まで漁獲が続いたが、前年を下回る低調な漁獲量であった。</p> <p>さわら流し刺網の秋漁は資源保護のため、前年同様休漁している。</p>
燧 灘	<p>底びき網では、マダイ、マアナゴ、メイタガレイ、タチウオ、カマス類、小エビ類、シャコ、コウイカ（当歳）が漁獲されているが、ガザミが少ない。</p> <p>さわら流し刺網は10月から出漁しているが、サワラの漁獲量は前年の1.5倍と好漁であるが、サゴシは前年の0.7倍と不漁である。</p> <p>いわし機船船びき網は、9月19日をもって操業を終了したが、今漁期の漁獲量、生産金額はそれぞれ前年の約1.4倍、1.2倍であった。</p>